

事業の名称	企画団体	事業の内容	評価点
花サークル・くさぎ活動	花サークル・くさぎ 永井 信廣	草木を起点に、町全域を「花いっぱい」にするため、公民館、沿道などへ花を植える。水やりなどを地域住民のボランティア活動により実施し、環境保全に対する住民意識の向上を図る。今回は、より花の状態を良くするため、石だらけのメイン花壇を土壌改良する。豊かな自然と人間との共生を深める。	70.86
矢勝川堤防などへの彼岸花球根の植栽	矢勝川の環境を守る 阿久比地区会 安井 誠一	矢勝川堤防周辺に彼岸花を植栽し、維持管理することにより矢勝川周辺の環境改善に資する。堤防上面、内面斜面の植栽は完了したので、今回は、矢勝川堤防左岸の外側斜面の植栽を進める。白球根で狐の模様を斜面に模様付ける植栽イベントを6月に阿久比中学生と開催し、矢勝川と権現山を一体として整備していく。	68.71
草木川環境保全活動事業	草木川環境保全 グループ 竹内 猛	自然環境型河川である草木川の環境保全を進め、より一層豊かな自然と人間との共生を深め、継続して行うことの大切さをアピールする。地域住民によるボランティア活動により、地域貢献と環境保全に対する住民意識の向上を図る。夏休みに草木川で地域の児童を対象とした「魚捕り」のイベントを計画する。	68.43
ロビーコンサート ～♪憩のひとときをあなたに～	Mオアシス 近藤 由美子	身近な庁舎で音楽のミニコンサートを、毎月1回開くことにより、さまざまなメロディーや楽器の音色に触れ、ささやかながら心が癒されるひとときを味わってもらう。2年目の今回は、初出演の方を優先し、いろいろなジャンルの音楽の生演奏を聴き、心温まるひとときを過ごしてもらうことを目指す。	68.4
あるある巡回講座	あるある講座クラブ 加藤 靖夫	知識・文化・技・日常の規律などを伝承することを目的に、地域の高齢者や地域の達人を講師に迎え、誰でも参加できる体験講座を夏休み中に各小学校を週3日巡回して実施する。また、夏と冬の年2回ふれあいの森で夜空観察会を実施する。地域のつながりを深め、家庭教育力・社会教育力アップにつなげる。	67.14
横断旗を活用した交通安全対策	商工会女性部 中山 朱美	町の未来を担う「宝物」である子どもたちが安全に登下校できるように、危険箇所横断旗を設置する。横断旗はアグビーをあしらったオリジナルデザインとし、設置場所は小学校と協議し、警察に確認の上、決定する。「自分の命は自分で守る」という交通安全の意識をより高める。	67
「なんでも交換市」in 東部十ふれあいイベント!!	東部コミュニティ 推進協議会 勝山 制	家庭の不要品を持ち寄り、無料で融通しあう物々交換市やフリーマーケットを開催することで、地域住民の交流を図り、資源やモノを循環させる。人と人とのふれあいの中で、未来に向けた共生、協働の精神を持って、地域が一体化した家族的なコミュニティの形成・育成を目指す。	66.29
ガラス飛散防止 in 草木保育園	防災ボランティア あぐい 安井 洋子	保育園の避難経路側のガラスに、飛散防止フィルムを貼ることで、地震が起きたときに子どもたちの命が守られ、子どもや親に安全・安心を提供することができる。また、保育士や会員などが一緒に行うことで、ガラス飛散防止の啓発にもなり、町全体に波及する第一歩となる。	65.29
創立70周年記念 阿中のシンボル 「桜坂」復活事業	阿久比中学校 70周年 実行委員会 岩田 靖	桜坂の桜の木に傷みが目立ち、枯れ枝が風で落ちることもしばしば見られる。創立70周年を迎えるこの機会に、生徒・職員・PTA・地域ボランティアで桜坂を復活させ、末永く保てるよう、樹木、垣根の剪定、伐採、除草を行う。桜坂の復活により、桜坂を訪れる人や通学する生徒に心の安らぎとやる気をもたらす。	65
あつまルーム 紡ぐ事業	あつまろまい会 安井 洋子	阿久比町に初めてできた町民活動室である、あつまルームをただ個人や団体が利用するだけでなく、人と人、思いと思い、人と思い、人と場所を紡いでいける部屋にするため、登録団体との運営会、サロン、祭を開催する。町外講師を迎え、講演会などを行うことで、町民活動の担い手を増やし、町民活動の向上につなげる。	64.8
新名菓開発! アグビー人形焼きで 阿久比をPR	商工会青年部 榎原 未央	阿久比の特産品である阿久比米の米粉を原料にした「アグビー」の人形焼きを開発することで、町内外に向けてPRし、地域活性化につなげる。阿久比米を活用することは米の消費拡大、地産地消の推進にもつながる。イベントなどの出店を通して、見て、食べて、触って楽しんでもらえる名菓に育て上げていきたい。	60.86
アグルマーケット	アグルマーケット 実行委員会 矢野 美佳	阿久比のモノやコト、知多半島ならではのモノやコトを集めたマーケット形式のイベントを開催し、阿久比や知多半島を好きになってもらう。対面販売で直接生産者とコミュニケーションをとり、生産者とのつながりを感じてもらう。人と人がつながる元気な阿久比や阿久比の人の温かさを感じてもらう。	60.29

※ 各事業の進捗状況などは、広報あぐい「みんなで協働推進ページ」で随時お知らせします。

■ 問い合わせ先 政策協働課協働推進係

☎(48)1111 (内1310・1311)

